

令和3年度 京都大学一般選抜  
出題意図等

外国語（英語）

- ・「出題意図等」とは、出題意図または標準的な解答例のことです。
- ・入学試験問題の満点や配点については、試験問題に記載のとおりです。
- ・各学部における個別学力検査の配点については、一般入試学生募集要項に記載のとおりです。
- ・標準的な解答例については、ここに示す表記に限るものではありません。
- ・「出題意図等」についての質問および問い合わせには対応いたしません。

## 外国語（英語）

### I.

比較的やわらかいスタイルで書かれた、フィクション（虚構の物語）の有用性についての文章の読解問題。(1)(2)(3)、いずれも英文和訳。それほど複雑な語彙、構文は用いられていない。英語の基本的な理解能力を問う。具体的には、(1)において「定冠詞＋形容詞」で抽象的な意味内容をあらわす名詞を形成するという文法事項、「何が何を正当化するのか」の正確な理解、(2)では「名詞＋y」で作られる形容詞、(3) if節の中で何が省略されているか、といったあたりがポイントになる。

### II.

ダーウィンの学説について書かれた、やや硬い19世紀の文章の読解問題。現代の英語と何ら変わらない英語で書かれており、生物学の知識がなくても読める。難度の高い問題ではあるが、文の流れを認識し、全体の要点（一元論と二元論の対立、進化論の一元論との関係、筆者の一元論への傾き）をつかんでいれば、下線部の英文は十分解釈できる。まず(1)の内容理解問題で、文章全体を読ませて、全体の趣旨の把握を促す。その上に立てば、(2)における the truth that という名詞節が2つある文構造、(3)における動詞 explain の2つの目的語、反語の Why not? といった構文上の難所も克服が容易になるであろう、との判断に基づき作成。

### III.

比較的平易で身近な話題に関する日本語文を英訳させる問題。英語の語彙・文法全般の基礎的知識と、日本語特有の表現を英語であらわす上での工夫や応用力を確認する意図の出題。

### IV.

会話的な表現、会話を成立させるための文脈理解などを問う。場面や状況に応じて、適切に英語表現を運用する能力を確認する。前後の文との一貫性が維持されているかという内容面と、書かれた英文の文法的正確さを問う。

以上